

Ⅲ. 地域の面的再生・地域活性化につながる多様なサービスの提供

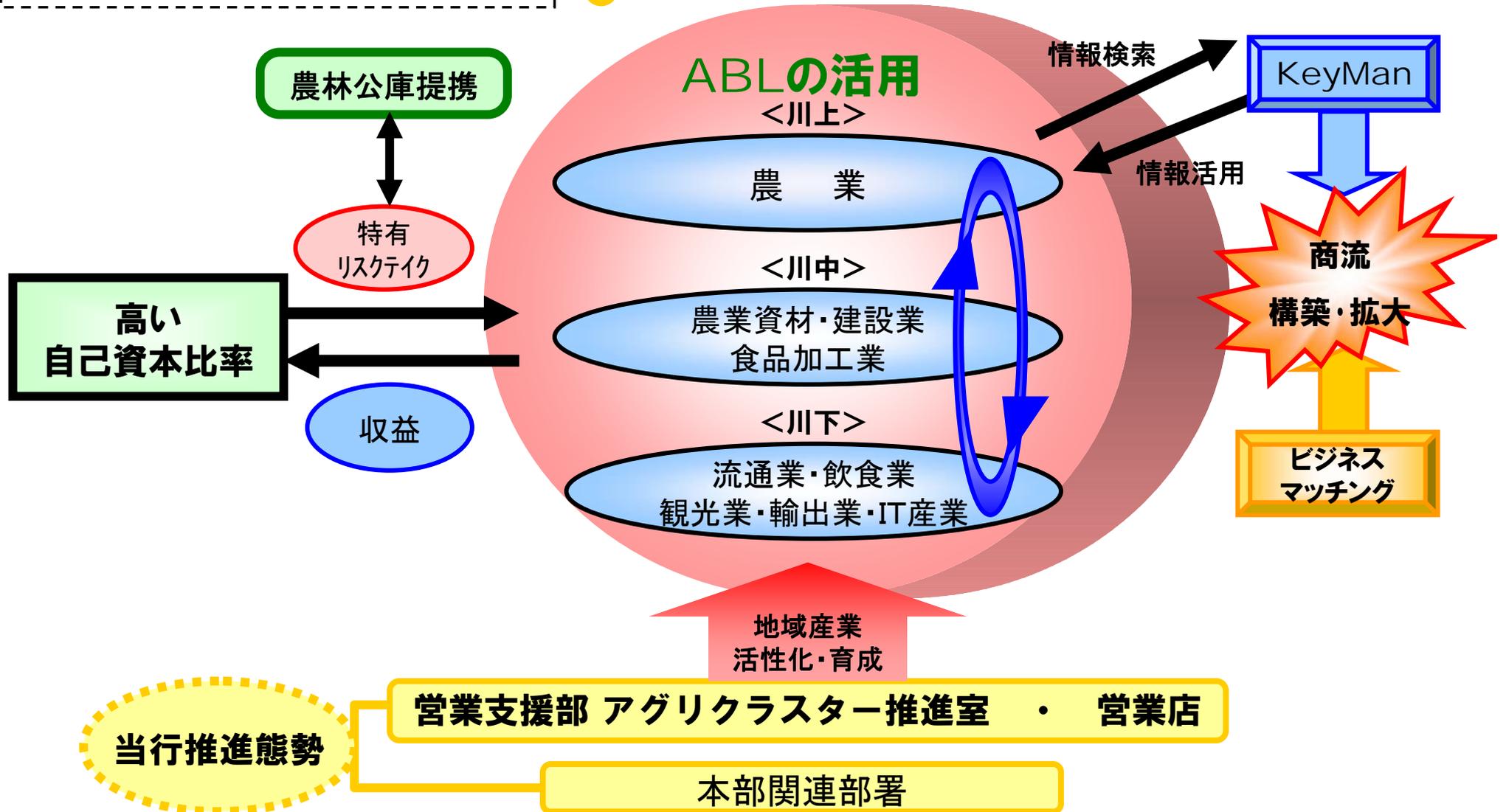
アグリクラスターの取組み

(金融機関名)鹿児島銀行

<p>1. 動機(経緯)</p>	<p>鹿児島県の第一次産業の比率は、全国平均の約3倍と高いうえ、農業産出額は全国2位であり、食料供給基地として位置付けられている。 農業を基点とした商流をサポートし地場産業の育成・振興・活性化を図り、地域経済への貢献を図っていくためにアグリクラスターの取組みを図っている。</p>
<p>2. 概要</p>	<p>平成15年 アグリクラスター構想の構築 平成16年4月 農林漁業金融公庫との『業務協力協定』の締結、鹿児島県庁農政部へ行員派遣 平成17年4月 営業支援部内にアグリビジネス専担者の配置 平成18年11月 アグリビジネス専担グループを『アグリクラスター推進室』に独立昇格</p> <p>※アグリクラスター構想……地域特性を活かした取組みとして、鹿児島県の基幹産業である農業(川上)・食品加工業(川中)を中心とし、川下である流通、更に関連産業まで含めた商流に係る産業群(アグリクラスター)の活性化、拡大を支援する取組み</p> <p>動産担保(ABL)の活用、中間管理、出口戦略(M&A等) 産業連関分析による生産波及効果について</p>
<p>3. 成果(効果)</p>	<p>●地域密着型金融推進計画 平成17年4月 アグリクラスター関連業種(肉製品製造業・酒類製造業・製茶業・畜産業・養鶏業)の貸出金純増目標50億円 平成18年3月 純増実績118億円・純増目標150億円に上方修正 平成18年9月 純増実績162億円 平成19年3月 純増実績191億円</p>
<p>4. 今後の予定(課題)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産のみならず耕種についてもサポートを強化 ・経営としての農業の確立 ・商品のブランド化、商流のデータベース化 ・地域経済の活性化

南九州の基幹産業である「農業」を基点に、派生する関連産業まで含めた商流に係る産業群（クラスター）の活性化に向けて、農林漁業金融公庫との連携や「アグリクラスター推進室」による審査ノウハウの構築、商流構築等のサポートを積極展開しています。

アグリクラスター (農業・健康・環境・観光)



「地域」の将来像とそれに向けた当行の対応





「地域密着型金融に関するシンポジウム」
アグリクラスターの取組み



鹿児島銀行

営業支援部アグリクラスター推進室

アグリビジネスへの取組み

背景

- ・ 鹿児島県の第一次産業の比率
- ・ 食料供給基地
- ・ 生き物相手のリスク管理
- ・ 農水産業者の系統離れ
- ・ 付加価値を高める方向への産業構造転換
(1.5次産業・2次産業)

- ・ 地場産業の育成・振興
- ・ 地場産業の成長支援による収益機会拡大
- ・ 自己資本比率をもとにしたリスクテイク

第3次経営戦略計画
(略称:第3次マスタープラン)



産業構造の推移

1. 名目総生産構成比(鹿児島県) (単位:%)

	平成9年度	平成12年度	平成15年度
第一次産業	5.9	4.9	5.0
農業	4.5	3.8	4.1
林業	0.4	0.2	0.2
水産業	1.0	0.9	0.7

2. 名目総生産構成比(全国) (単位:%)

	平成9年度	平成12年度	平成15年度
第一次産業	1.8	1.8	1.7
農業	1.3	1.4	1.4
林業	0.1	0.2	0.1
水産業	0.3	0.2	0.2

全国比
約3倍

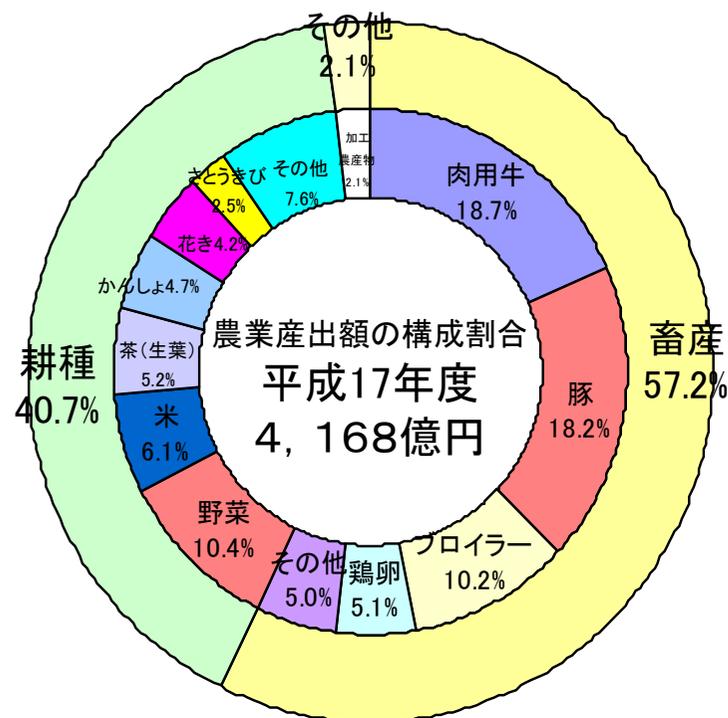


鹿児島県農業産出額 (平成17年度)

農業産出額:4,168億円 <全国 第2位>

(1)上位10品目

	品目	金額(億円)	単品割合	累計金額	累計割合
1	肉用牛	778	19%	778	19%
2	ぶた	755	18%	1,533	37%
3	ブロイラー	424	10%	1,957	47%
4	米	253	6%	2,210	53%
5	茶(生葉)	217	5%	2,427	58%
6	鶏卵	212	5%	2,639	63%
7	カンショ	196	5%	2,835	68%
8	サトウキビ	103	2%	2,938	70%
9	バレイショ	88	2%	3,026	73%
10	粗茶	85	2%	3,111	75%
	合計	3,111	75%	3,111	



(2)全国一位の品目(8品目)

肉用牛、豚、カンショ、鶏ひな、ソラマメ、オクラ、タンカン、グラジオラス

(3)全国二位の品目(10品目)

ブロイラー、茶(生茶、粗茶)、サトウキビ、鶏卵、サヤエンドウ、カボチャ、夏みかん、ポンカン、キンカン

(4)全国三位の品目(10品目)

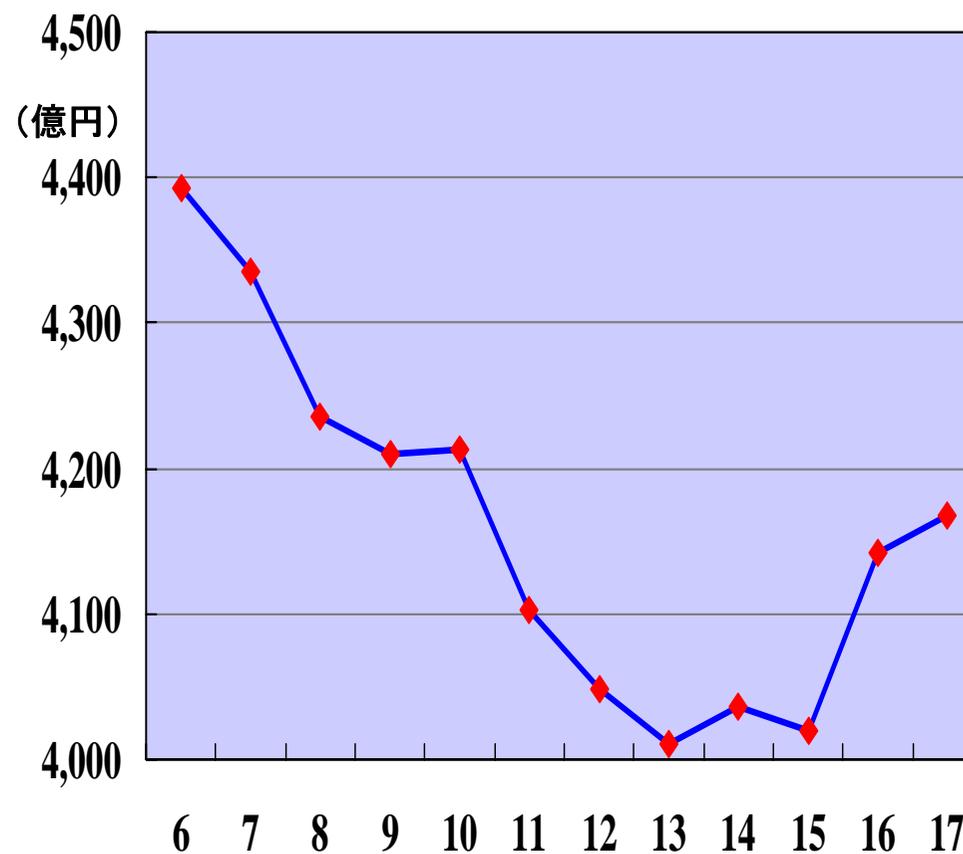
バレイショ、葉タバコ、菊、観葉植物(鉢物)、サヤインゲン、ニガウリ、ラッキョウ、切り葉、ビワ、マンゴー



農業産出額推移 (鹿児島県)

【鹿児島県の農業生産額推移】

年度	産出金額(億円)	全国順位
6	4,392	4
7	4,335	4
8	4,235	4
9	4,210	4
10	4,213	4
11	4,103	4
12	4,048	4
13	4,011	3
14	4,036	4
15	4,019	4
16	4,142	4
17	4,168	2



農業関連への取組み方針

【経緯】

- ・県農業法人協会への参加(事務局)
- ・当行OBを通じた農林公庫との情報交換

- ・第2次マスタープランにて「アグリクラスター構想」を構築
- ・平成16年4月 農林漁業金融公庫と『業務協力協定』締結
- ・鹿児島県庁農政部へ行員を派遣

- ・平成17年4月 営業支援部にアグリビジネス専担者を2名配置し、より専門的な推進態勢を整備
- ・地域密着型金融推進計画にてクラスター関連業種向け貸出金純増目標50億円

- ・平成18年 3月 純増実績118億円
地域密着型金融推進計画・貸出金純増目標150億円に上方修正
- ・平成18年 9月 純増実績162億円
- ・平成18年11月 アグリビジネス専担グループを『アグリクラスター推進室』に独立昇格
- ・平成19年 3月 女性行員1名増員
純増実績191億円
- ・平成19年 4月 農業改良普及センターOB 1名増員
- ・平成19年 5月 元農林公庫職員 1名増員

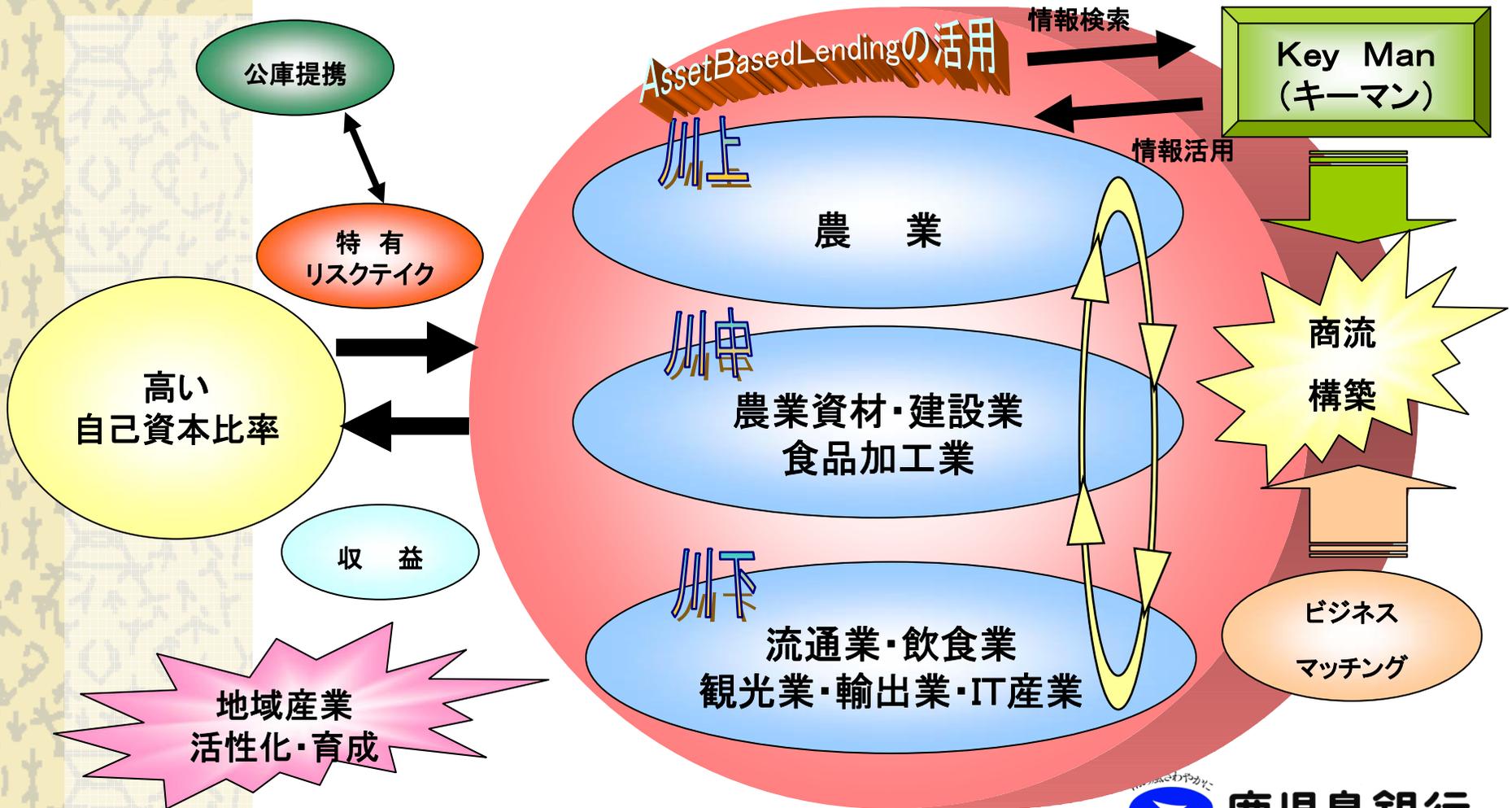
※『アグリクラスター構想』

地域特性を活かした取組みとして、本県基幹産業である農業(川上)・食品加工業(川中)を中心とし、川下である流通、更に関連産業まで含めた商流に係る産業群(アグリクラスター)の活性化、拡大を支援する取組み。



アグリクラスター

(農業・健康・環境・観光)



アグリビジネス取組みの課題

🌟 リスク管理面

－ 商業銀行としてスタート

- ・ 農地担保
- ・ 集合物譲渡担保
- ・ 生産物売掛金等の反対債権なし(農協との違い)

処分先の確保・情報収集等
大きな課題

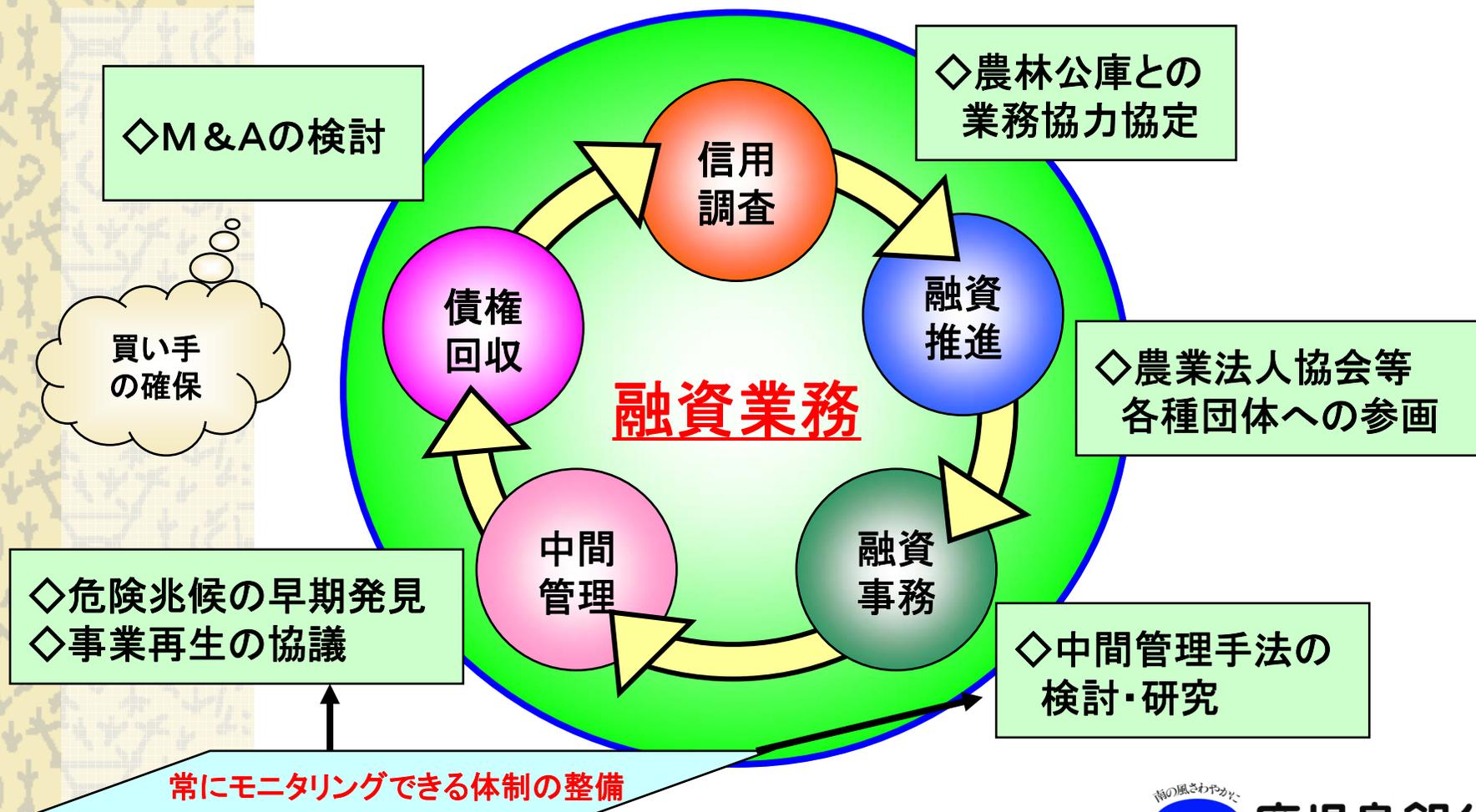
🌟 審査・ノウハウ面

- － 審査ノウハウの不足
- － 技術面のノウハウ不足

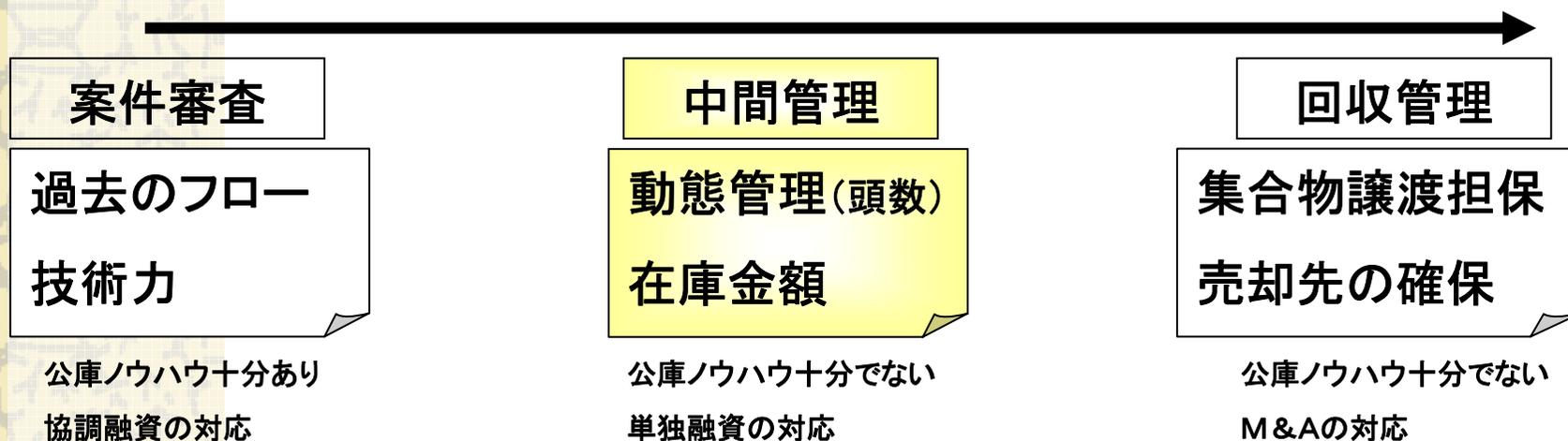
🌟 営業推進面

- － 零細な個人経営者(事業と家計の混同)・・・実態把握の困難
- － 事務負担量と手数料収入の関係(代理貸)

取組みのコンセプト



資金対応について



- ✪ 生体(牛・豚)の在庫金額の把握
- ✪ 肥育牛個体登録内容確認兼在庫管理表
- ✪ 運転資金の対応

産業連関分析による 生産波及効果

主な関連業種 (百万円)		パターン① 畜産業で10億円の最終需要増加		パターン② 耕種農業で10億円の最終需要増加	
		最終需要増加額	生産波及効果	最終需要増加額	生産波及効果
川上	畜産	1,000	1,087		5
	耕種農業		106	1,000	1,020
	農業サービス		70		18
川中	食料品・飲料		35		5
	飼料・肥料関連		307		36
	建設		11		7
川下	商業		72		50
	金融		66		46
	輸送関連		109		55
	飲食・観光関連		16		11
その他業種			159		113
合計		1,000	2,038	1,000	1,366

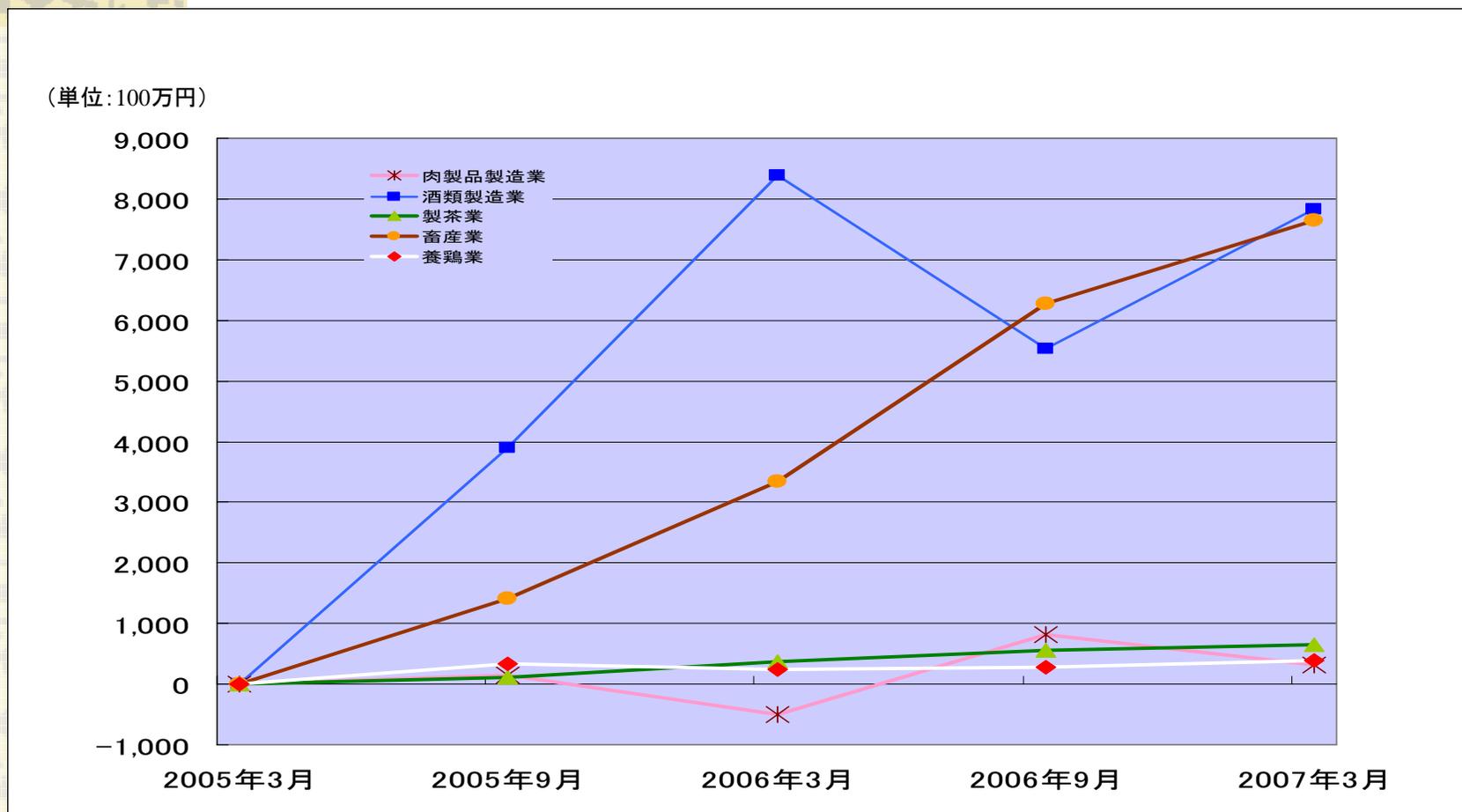
* 生産波及効果は第二次間接効果までの合計額

● 主な関連業種（川上・川中）の産出額または出荷額（平成12年および平成17年）

	平成12年	平成17年
畜産業	2,067億円	2,386億円 (+15.4%)
耕種農業	1,912億円	1,696億円 (△11.3%)

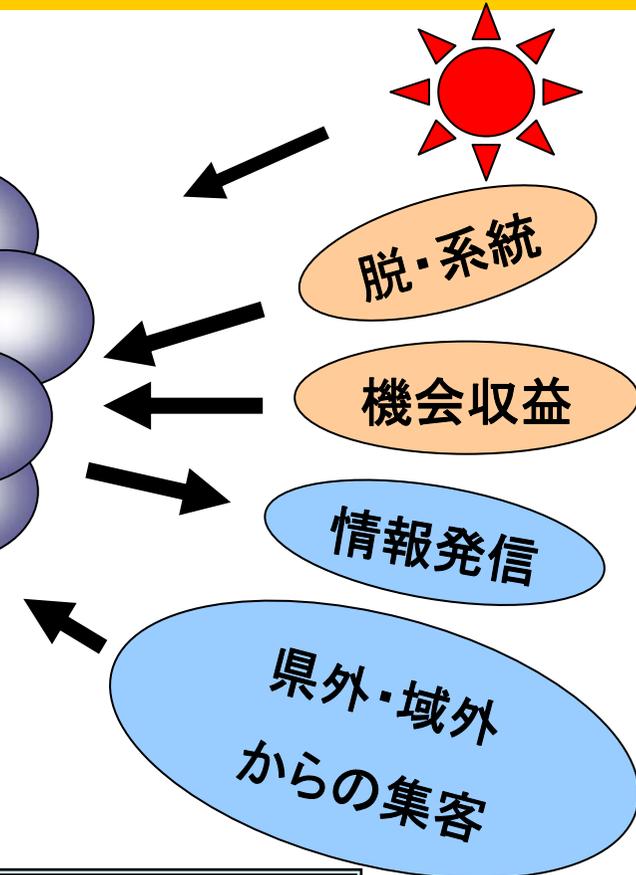
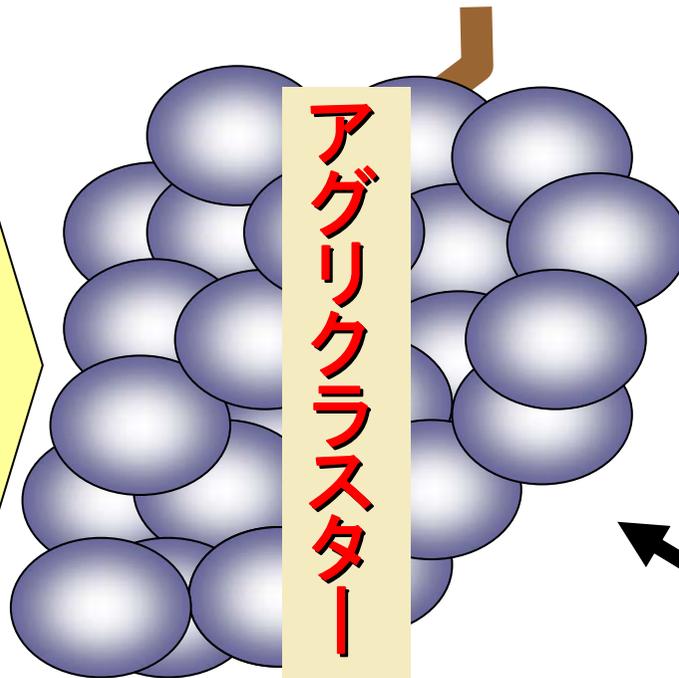
	平成12年	平成17年
食料品	5,406億円	5,601億円 (+3.6%)
飲料	3,159億円	3,321億円 (+5.1%)

地域密着型推進計画 (業種別純増推移)



アグリビジネスへの取組み ～今後の方向性①～

- 情報・ノウハウの蓄積と体制の整備
- 内部行員の意識改革
- 外部との交流



地元を“深く耕す”＝本当の意味での“耕す”



アグリビジネスへの取組み

～今後の方向性②～

基幹産業としての農業の確立

【経営としての農業】

- ・機械化による生産効率の追求
- ・IT化による生産技術の向上・安全性の確保
- ・プロダクトアウトからマーケットインへ
- ・サプライチェーンの一貫性の確保
- ・多品目経営によるリスクの平準化



【地域経済の活性化(経済規模の維持・拡大)】

- ・雇用の創設(高齢者・Iターン・Uターン)
- ・農業所得増加による個人消費の下支え
- ・地域特性を活かした観光事業の創設
- ・農業生産物の輸出
- ・食品加工工場の誘致



アグリビジネスへの取組み ～今後の方向性③～

